

### 第一款 齋教の意義

齋教は仏教の一種にして禅宗の臨済宗より変胎し、出家せずして仏戒を守持し、葷肉を食わず、髪を剃らず、法衣を着けず、仏を信仰し、朝夕仏前に誦経し、信徒相互のため冥福を祈るものとす。信徒に二あり、一は常に寺廟に寄食しほとんど僧侶と同様なるものと、一は自家にありて妻帯し普通の業務に従事し朝夕仏前に礼拝読経するものとの二あり。

信徒が仏像を安置しあるところを齋堂という。齋堂の経費は基本財産あるものはこれより支出し、これなきものは信徒各自の寄付によるものなり。

### 第二款 齋教の礼拝する像および念誦する経

いずれも釈迦・阿弥陀・観世音・達磨・十八羅漢を礼拝す。報恩堂にはこれらのほかに天公すなわち天地創造の神、三界公すなわち天地水、および日頭公すなわち太陽等を祀り礼拝せり。経は金剛・大悲・靈王・阿弥陀・観音・法華経を誦す。

### 第三款 齋教の主義

教徒いわく、僧尼は法衣を着し頭髪を剃りいるも、往々糊口のために出家したるものありてよく仏教の戒法を守るもの少なしゆえに、教理を究め世を濟度する等は思東（おぼつか）なきところなり。これに加え僧尼はいたずらに寺廟に住し生産を務めず。仮令（たとえば）法衣を着けず頭髪を剃らざるも、よく仏道の教義に通じ、戒律を守らば仏徒たるに恥じず。また生産を務め国用を空費せざれば国民の務めなりと言いおれり。

### 第四款 宗派

#### （一）龍華派

龍華派の開祖は明の時山東省萊州の人羅因なるもの、二十八歳にして成道し、諸国を遍歴し諸人を教化し、嘉靖六年露靈山にありて示寂したり。のち弟子相継ぎ清の雍正年間陳普月なるもの福州福寧県観音埔に齋堂を開き一是堂という。現今福建および台湾における総主教の居るところはすなわちこれなり。

全島に在るところの重なる龍華堂を挙げれば左のごとし。

台南 徳善堂・徳化堂  
 安平 化徳堂  
 嘉義 大和堂  
 朴仔脚 正心堂  
 塩水港 善徳堂  
 斗六 真一堂  
 西螺 慶天堂 等なり。

#### （二）金幢派

金幢派〔キムトンハ〕は台南市の慎徳堂その最も古きものなりという。該派のいうところによれば、明の嘉慶年中・王太虚と称するもの直隸省永平府に生まれ、齋教に帰依し、その弟子董応亮、万暦年間興化府蕭田に來たり樹徳堂を建立し、その徒弟蔡権台南に來たり今の慎徳堂を開きたるものなりという。今その重なる堂を挙げれば、

台南 西華堂・慎徳堂・慎齋堂・西竺堂  
 鳳山 宝善堂

阿里港 慎修堂  
 阿緱 慎省堂  
 茄冬脚（※現在の台南市塩水区） 慎和堂  
 嘉義 増盛堂 等なり。

### （三）先天派

先天派は明の時徐錫なるもの四川州において先天堂を建立し、さかんに吃齋の教義を宣伝し、その孫徒・黄昌盛、咸豊年間台南に渡り教義を弘め徒弟鄭良謨なるもの今の報恩堂を建設せり。今に本部は上海の盛観亭なりという。その重なる堂を挙げれば左のごとし。

台南 報恩堂・徳賢堂  
 鳳山 明善堂  
 東港 明德堂

その他台中庁下の尼寺、鹿港の齋堂、新竹樹林頭の鄭家の尼姑庵および西門外街の周家の齋堂、ないし苗栗街の齋堂等なり。

### 第五款 信徒の務め

信徒相互に呼んで齋友という。男を齋公と称し、女を齋姑と称す。信徒は仏の祭日には齋堂に会して読経礼拝して仏に供養す。また信徒中に死亡者あるときは齋友皆その家に至り焼香読経して死者の冥福を祈るものとす。

### 第六款 信徒の階級

信徒に九階級あり。いわく、空々・大空・清澗・四偈・大引・小引・三乗・大乘・小乗にして、入堂後劫を積むにしたがい階級進むものとす。一堂の主教は大空にして全島の主教は空々をもってこれに充てるという。

### 第七款 信徒の迷信

迷信深き台湾人としては比較的迷信者少なきは齋教信徒なりとす。しかるに大正二年四月十三日夜台南庁下七甲庄赤山岩の住職陳倫ほか僧八名および齋教信者婦人施氏品ほか七名赤山岩の寺前において薪を積み油を灌ぎまた各自身に綿花を纏い油を灌ぎ前記十五人一時に焚死して成仏せんとて二通の遺書を留めまず身体に火を点じ積み置ける薪中に飛び入り十五名ついに焚死せし珍事あり。これ一は経文の誤信と一は陳倫がかつて支那福州鼓山湧泉禅寺に詣で現今の総管古月師が悟道正定神通玄妙なるを聞き自己の未だ入定しおらざるをも顧みず、法華経第六卷二十三品録に【省略】とあり、これ正定に入りたるものは実を猛火森水に投ずるも何ら苦痛なく成仏すという意なりと誤解し、かついわく、我々はすでに大悟入定したるものなれば焚死すといえどもなんら苦痛なしといひ、ついにこの世からなる焦熱地獄を演じたるものなりという。